

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 2 月 25 日

322 電子機器

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Radio/TV Repair	(男) 1 人	訓練開始 56 年 10 月
	(日本語) 電子機器(ラジオ・テレビ修理)教官	(女) 人	派遣予定 57 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57 年 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION AND CULTURE, DEPARTMENT OF TECHNICAL EDUCATION
(日本語): AND VOCATIONAL TRAINING : 文部省技術訓練局

ロ. 隊員勤務先名称: LUANSHYA TRADES TRAINING INSTITUTE 日本語名称 (ルンシャ高専職業訓練校)
所在地: P.O.Box 90387 LUANSHYA 主要都市からの距離 (市街内 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 当校の学生総数は約170名, スタッフ数16名(外人講師1名)6コースが開設されている
(自動車整備科, 電気科, 事務機器科, ラジオ・テレビ修理科, タピスト科, 速記科) 文部省職業訓練局の定めた指導要領に沿って2年間, 実技を主として実地学科を指導し, 一般技術者を養成している。

ニ. 設備概要: カナダ政府等の援助により, 1971年に設立され, 各コースとも指導に必要な程度の教育設備・機器類は揃っている。

(2) 隊員の業務内容:

1. 業務上の隊員の地位: ラジオ・テレビ修理コースの専任教官となる。

2. 技術の範囲: ラジオ・テレビの理論(*)ならびに修理に精通しており, 指導できることが要求される。*(電子回路, 変圧器, 送受信理論, トランジスタテレビ理論, 波型等, 電子工学一般の科目)

3. 業務上の形態: 教育型 週30時間程度の授業を担当(学科6時間, 実習22時間)

4. 訓練生: セカンダリースクール Form V 卒業生(高校3年卒業程度, 英語・数学ならびに物理化学の修得者)

5. 利用できる機材: 実習室と教室には, 必要最低限の機材は備わっている。

6. 語学: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ザンビアナイゼーションの進む中, 中間技術者の育成は急務であり, 特に教育分野での協力を必要としている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 学歴: 高専あるいは短大卒(電子工学科等専攻) 以上

② 実務経験: 3年以上

③ 取得資格: 単車免許

4. 教授経験が望ましい。

5. 英語必須

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 3月 20日

322 電子機器

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Electronic Teacher	(男) / 人	訓練開始 <u>56</u> 年 <u>12</u> 月
	(日本語) 電子機器教官	(女) 人	派遣予定 <u>57</u> 年 <u>3</u> 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 <u>57</u> 年 <u>4</u> 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministry of Education & Culture.
 1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Technical Education & Vocational Training
 (日本語): 文部省 技術教育職業訓練局
 2. 隊員勤務先名称: Zambia Institute of Technology 日本語名称 (ザンビア工科大学院) (日本語)
 所在地: P.O. Box 21993, KITWE 主要都市からの距離 (キタよりZキロ)
 3. 事業規模及び内容: 当校は技術者養成教育の大学院を以て、入学資格として高校 (FORMT) 卒業試験に合格 (上位) した者 学生数 550 名、1 年 2 年 平均 15-30 名、修学年数 2 年半以上、3 年 3 月 工業系 電子科 建築科 土木科 電気科 鉱山科 その他 全部 2 年コースである。 (但し他は 1 年 2 年コースあり)。 教員数 約 90 名、うち 40-45% が 大講師 (日本人、英国人、アフリカ人その他) 当校は 1970 年にザンビア政府 (建物) 及びザンビア政府 (教育材料、スツル、他) の援助により、教員、全寮生、その他 毎月 K 2000 手当が支給される。 授業料等一切無料。
 4. 図書室等教育設備 (実技、座学用) は整っている。

(2) 隊員の業務内容
 (1) 業務上の地位: 電子機器教官
 (2) 技術上の範囲: 電子基礎理論、コンスタント (AM, FM)、電子制御、工業電子、電子回路、電子機器、TV (自黒、白)、マイクロ理論を教授する。 実習重視である。 なお、数学の知識が低いので、指導上の障害はあり、指導方法に工夫が必要となる。
 (3) 業務の型態: 教室及び実験室での講義 指導で 18-24 時間担当。 1 時間 60 分。
 (4) 訓練生: FORM (V) 高校卒業程度の人、成績上位の者である。 自然科学系 (数学、物理) の基礎学が十分偏りがある。 年令 18-22 才位。
 (5) 利用可能な機材: 各種電子教材、シミュレータ (一象、二象) TV 教材、微積分、デジタル教材他。 一部の実験装置は不自由だが、設備は年々難なく、使用不可になった教材もある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:
 ザンビアはインフラの面で、中間技術者の育成が急務であり、特に教育分野の協力を必要とする。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
 ① 大卒 (電子工学等専攻) 以上 ⑤ 単車免許
 ② 教員免許
 ③ 業務経験 4 年以上
 ④ 英語必須

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 3月 20日

322 電子機器

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガナビア	(現地公用語) Radio/TV Repair	(男) / 人	訓練開始 <u>56</u> 年 <u>10</u> 月
	(日本語) 電子機器の修理	(女) 人	派遣予定 <u>57</u> 年 <u>2</u> 月
	電子機器の修理(どちらでも可)	人	受入期限 <u>5</u> 年/月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 MINISTRY OF EDUCATION AND CULTURE, DEPT. OF

1. 配属先名称 (現地公用語): TECHNICAL EDUCATION AND VOCATIONAL TRAINING

(日本語): 文部省技術教育訓練局

2. 隊員勤務先名称: LIVINGSTONE TRADES TRAINING INSTITUTE 施設名称 (リビングストン高等職業訓練校)

所在地: P.O. BOX D.27, LIVINGSTONE 主要都市からの距離 (市内より10キロ)

3. 事業規模及び内容: 学生の入学資格は高校3年卒業生で当校の学生数267人で1万人平均16名、
全体で12コースあり、修学年数2年。但し化学、物理は5ヵ月。教員33名(英国人1人、セニア1名)当校
は1951年に開校し、当時は12ヵ月コースで修学年数2年で平均10名前後の学生数であった。1968年

4. 設備概要: 12ヵ月の施設と11現在の訓練校なる。
各コースとも指導に必要な程度の教育設備、機器類は揃っている。

(2) 隊員の業務内容:

1. 業務上の隊員の地位: ラジオテレビ修理コースの専任教官となる。
(技術教官)

2. 技術の範囲: ラジオテレビの理論(電子回路、配線、受信、トランスミッター、波
導、電子工学一般) ならびに修理に精通しており
指導できることが要求されている。

3. 業務上の形態: 教室型、1日3時間程度、授業を担当。1時間45分。
(学科 6時間、実習2時間、課外活動2時間)

4. 訓練生: セニア1 スクール FORM V 卒業生 (高校3年卒業程度、
英語、数学、物理、化学は最低限修得者)

5. 利用できる機材: 実習室、教室に必要最低限の機材は備わっている。

6. 語学: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ガナビアの経済、中間技術者の育成は急務であり、特に教育分野
での協力を必要としている。なお、同校では、規律を重視しており、授業、課外活動を通し
ての規律ある生徒を育成、指導している。以上を担う隊員の希望が大きい。
(積極的)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 高専または、短大卒 (電子工学等専攻) 以上

② 実務経験 5年以上

③ 25才以上

④ 単身免許 5. 教授経験者望ましい。 6. 英語必須

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 3 月 20 日

322 電子機器

調査者氏名 林和昭

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
リベリア	(現地公用語) Electronics Instrumentation (日本語) 電子機器	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Labour, Youth and Sports
(日本語): 労働・青年・スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: Monrovia Vocational Training Center
日本語名称 (モロビア職業訓練所)
所在地: Center Monrovia 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

主銀の援助により、中南技術者育成のための新設職業訓練所

ニ. 設備概要:

現在設置機材の検討中。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の地位; 教官

② 技術の範囲; カキユウの策定・教材の準備 実技及び一般理論

③ 業務の形態; 職訓において教官として指導に従事する。

④ 対象者及びキャラクタ; Assistant Instructor (リベリア人)
ロ. カクタ-ポートと取りえる。
対象者はセカダリースクール卒業程度。

⑤ 言語; 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

中南技術者育成は急務であり、J.O.C.O.における期待は極めて大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

業務経験3年以上、英語堪能、

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 54 年 () 月 () 日

調査者氏名 橋本 法岳 (印)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
HONDURAS	(現地公用語) ELECTRONICA	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 電子工学(機器)	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 1980 年 8 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 MINISTERIO DE EDUCACION PUBLICA 文部省

イ. 配属先名称 (現地公用語): DIRECCION GENERAL DE EDUCACION MEDIA (DEPTO. EDUC. TECNICA)

(日本語): 中等教育局 技術教育課

ロ. 隊員勤務先名称: INSTITUTO TECNICO "HONDURAS" 日本語名称 (ホンデュラス 工業学校)
所在地: TEGUCIGALPA, D.C. 主要都市からの距離 () 以上 () キロ

ハ. 事業規模及び内容: 専門技術教育を目的とした6年制(日本の中学、高校)の工業学校で入学資格は小学校卒以上である。本年度(1979年)新設され現在1年生のみ約300人の生徒が学んでいる。1クラス36人編成で20名の教員がいる。

ニ. 設備概要: 教室25, 実習室11 (電子機器, ラジオ, TV修理, 制御回路, 冷熱空調, 工作機械, 溶接, 板金, 鍛金, 塗装, 木工, 化学実験室等)を有し指導用設備, 機械測定器等, 完備している

(2) 隊員の業務内容:

上記工業学校に於て電子工学の基礎, ラジオ, TV修理の理論, 実習指導にあたる。

ホンデュラスのラジオ, TV市場は約40%が日本製であり, 他はアメリカ, ドイツ, 韓国製である。国内の電子機器技術者の需要は非常に高いが, 技術者の絶対数の不足, 資質, 技術水準の低下が需要に答えられない原因となっている。特に日本製品については専門知識, 技術経験を有する教師が少なく, 隊員に対する期待は大きい。隊員は生徒教育指導の他, 授業計画の立案, 実施, 教科書, 教材の作成, カウンターパートの育成が課せられる。

- ① 隊員の業務上の地位 工業学校 電子機器教師
- ② 技術の範囲 工業学校生徒に対する電子機器教育指導, 教科書, 教材の作成
- ③ 業務の形態 授業時間割 午前7:00~11:50, 午後12:35~3:00 1単位45分授業(月~金曜) 一週間20時間前後の授業時間を受け持つ
- ④ 対象者 中高校生, 12才~20才, 現地側教員
- ⑤ 現地で利用する機材 学校が新設されたばかりであるが授業, 実習に必要な教室, 実習室(40人分の設備, 機材, 測定器等, 完備している。(全部新品)ただし生徒用基礎工具が不足
- ⑥ 専門家, 外国人の配置 現在までなし
- ⑦ 使用する言語 ス페인語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

国家開発計画に基づき文部省では教育の資質の向上と普及を最大の課題としている。新設の同校は6年制の技術専門教育機関であると同時に一般教養を充実に卒業生には大卒学資格が与えられるシステムを導入, 教員, 生徒とも非常に意欲的であり, 日本の電子産業, 教育水準を背景とした隊員の技術指導法に対する期待は極めて大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高専, 大専, 大学工学部にて電子工学を専攻した者で2,3年の指導経験と有すること。
教員免許, ないし職業訓練指導員免許。経験なき場合は最小限20月の新設前技術研修の要指導上, 文化, 歴史, 習慣の違いからいさづき, システムが生じる可能性があり, 障害を克服するには明朗な性格と柔軟な思考力が最も要求される。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 8月 1日

ザンビア

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Radio Engineer	(男) 人	訓練開始 57年 4月
	(日本語) 無線通信機	(女) 人	派遣予定 57年 8月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 57年 8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF HOME AFFAIRS ZAMBIA POLICE SIGNALS
(日本語): ザンビア内務省 警察庁 無線通信部
- ロ. 隊員勤務先名称: TECHNICIAN TRAINING CENTER 日本語名称 (技術者養成所)
所在地: LILAYA (警察学校内) 主要都市からの距離 (ルサカより 20キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 教官 5~8名, 生徒 17名 (1年及び2年生計)
一般警察職員から合格者と対象に2年制コースで無線技術者を養成する
- ニ. 設備概要: 普通教室 2, 実験室 1, 教官室 1

(2) 隊員の業務内容:

- 1) 隊員の業務上の地位: 教官として無線技術者を養成する
- 2) 技術の範囲: 無線技術について理論及び実技を指導する
- 3) 業務の形態: 月曜から金曜まで午前9時より午後4時30分まで6時間限の授業
- 4) 対象者及びカウソート: 対象となる生徒は警察職員であり, Secondary Schoolの3年又は5年を終了したその中から試験によって選ばれた者である。年齢は 20~30才程度である。ザンビアでは一般に数学・科学についての知識が不足している
- 5) 現地で利用できる機材: 機材については日本から寄贈されたものがあり, ほとんど必要な機器は完備されている
- 6) 職場に於る外国人: 現在 ザンビア人卒業生による運営のホホとして 2名を確保したが 1984年を目標としてザンビアによる運営を計画している
- 7) 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ザンビア警察通信部においては無線通信機の保守・修理のできる技術者が不足しており, 技術者の養成が急務となっている

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 短大・高専卒以上 年令 23才以上
- ② 通信機器修理保守の経験3年以上。教育に対し熱心で意欲のある者
- ③ 英語必須で十分な意思疎通のできる人
- ④ 単車運転免許取得

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 9月 11日

332 電子計算機

調査者氏名 赤木幸次

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) Ingeniero de computación	(男) 人	訓練開始 57年 4月
	(日本語) コンピュータ技術者	(女) 人	派遣予定 57年 8月
		(どちらでも可) 1人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Instituto Tecnológico de Costa Rica (I.T.C.R.)
(日本語): コスタリカ工科大学
- ロ. 隊員勤務先名称: Instituto Tecnológico de Costa Rica 日本語名称 (コスタリカ工科大学)
所在地: カルタゴ市 主要都市からの距離 (サンホセより 20キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 5学部 (DIVISION) 18学科, 4年制大学工学系, 生徒数 1500人程度
- ニ. 設備概要: IBM-370-115, Burrough-1800, Micronover, Apple II, Hitachi MB-6880, 今年中に2台のマクロコンピュータが入る予定

(2) 隊員の業務内容:

- ① コンピュータ技術者としての研究開発要員
- ② ハードウェアとソフトウェアの両方の技術者
- ③ 主にマクロコンピュータに関するプロジェクトに携わる。
現在 I.T.C.R 側が考えている業務としては、下記のものがある。
(但し、~~予定~~である)

 - IBM 370-115 とマクロコンピュータ Apple II を替り IBM 側のファイル参照できるように
 - 1台のラジオリコーと2台のマクロコンピュータで使用できるように

- ④ 仕事の内容は、大学卒業生、ただし実務経験はほとんどなし、2,3人 海外での留学経験者、年齢は、23才~30才の間
- ⑤ IBM 370-115, Burrough 1800, Micronover, Apple II, Cromenco 等
- ⑥ 現在のところコンピュータセンターに1人か2人かいる。ただし1982年2月帰国
- ⑦ スパイン語, (英語は、おりに役に立たない)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在、I.T.C.R コンピュータ学科にマイクロラボラトリーを建設中(協力隊員の3台のマクロコンピュータ贈与)現在のスタッフにマクロコンピュータの専門家はいない特にハードウェアの分野に弱く、上記(同隊員業務内容③)のプロジェクトの要する人を期待している。スタッフの1人が現在日本に留学中、彼と一緒に仕事をすることも希望している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ①, 学歴 大学卒
- 3. 実務経験 2,3年程度
- 4. 大学においてハードウェアを専門に学ぶ、~~実務経験~~実務経験も(ハードウェア関係)も必要

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 2月 18日

31502 視聴覚機器

調査者氏名 伊藤 英明

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サモア	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	Audio-Visual Resource Technicians	(女) 人	派遣予定 57年 1月
	(日本語) 視聴覚材器	(どちらでも可) / 人	受入期限 57年 1月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Education Department

(日本語): 文部省

2. 隊員勤務先名称: Western Samoa Technical Institute 日本語名称: 技術高等職業訓練校

所在地: Vaivase, Apia

主要都市からの距離 (ptopより 5キロ)

3. 事業規模及び内容: 1963年に設立された西サモア唯一の2年制職業訓練校であり、生徒数170名(1年生:100名, 2年生:70名)。訓練科目は、電気工学、自動車整備、工作科、木工、板金、屋内外配管、木工、商業コース等、ある。

4. 設備概要: 日本の中程度職業訓練校と同水準の設備を有する。

(2) 隊員の業務内容: 上記訓練コースに関して、視聴覚材器を使用する場合に必要となる教材の作成に、カンピュータの技術指導。

① 業種上の地位: 技師 (Technician)

② 技術の範囲: a) 視聴覚教育に必要とする各種教材の製作技術(能)が必要。

b) 視聴覚材器の修理技術は、必要とされないが、保守管理は必要。

c) デザイン等アートワークの技能が要求される。

③ 業種上の形態: サモアカンピュータと共に、教材の作成に及ぶ。

④ 対象者: 各コースの生徒に対しに教官。

⑤ 利用する教材: オビニ・ヘッド・プロシキター (オランダ製 MODEL 1200), O.H.P用厚紙 (500) 作成複写機 (MODEL Rex-Rotary 2202), 同厚紙印刷機 (米製, 3M BRAND), スライドプロシキター (ELNOS-300), 投影機 (オランダ製 Classmaster II), 複写機, 印刷機 (MODEL Gestatmer 360), 平版印刷機 (ドイツ製 Gema 4405) 等。

⑥ 本国関係の日本専門家: ニュージーランド1名, PVCA平版印刷機, 厚紙印刷機, 複写機等1名

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 各コース授業に、視聴覚材器を導入しようとしているが、各種教材の使用(利用)方法が理解できていない。ほとんどの教材は放置されたままになっている。従って、隊員にはこれらの教材の扱っ方を教えること、視聴覚教育のための導入が期待されている。(同訓練校へ)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 学歴は向わない。

○ 視聴覚教育に携わった経験のある方が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 9月 17日

340 電話交換機

調査者氏名 藤尾 洋

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
スリランカ	(現地公用語) Telephone Exchange	(男) 1人	訓練開始 57年 4月
	(日本語) 電話交換機 (クロスバー)	(女) 人	派遣予定 57年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Post and Telecommunication

(日本語): 郵便、電気通信省

ロ. 隊員勤務先名称: Dept of Telecommunication 日本語名称 (電気通信局)

所在地: コロンボ 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: コロンボ地区における電話交換業務はコロンボセントラル、バブロンタウン、マラダーナの三ヶ所の交換所で行われている。

ニ. 設備概要: コロンボ地区における電話交換機は、クロスバー (C-400, C-460NB, CA-82 NB), ステッドバリスラングにより業務が行われ、近くフランスからの電子交換機も稼働している。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位、交換機保守管理のテクニシャン
 2. 技術の範囲 } クロスバー交換機の保守管理及び現地人技師の指導。
 3. 業務の型態 } (現場における指導)

4. カウンターパート等、1ヶ所の交換所には概ね、10人のオプサー、2人のインスペクター、12人のスイッチワーカー、交換機以外の付属電気設備の保守管理にあたる技師が38人いる。カウンターパートと例えればインスペクターであり年齢30~40才、経験4-5年以内の人の中には数ヶ月間 JICA の研修に参加した人もいます。

5. 材料等、現地スタッフの修理等に使用する材料は一括管理されています。

6. 才3国人等、① 同省に JICA が電波監理の専門家も派遣されています
 ② 電子交換機の設置のためのフランス人技師。

7. 使用言語、英語及びシンハラ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

クロスバー交換機は CA-82NB が 1972年、C-400, C-460NB が 1976年に導入され、国内での技師養成、及び海外での研修等も行っているが、人材不足であり、今般に充分に保守管理ができるとは言えず、協力隊員の要請がなされたのである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高卒以上、(経験3年以上)

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4月 22日

360 電話交換機

調査者氏名 石川 満男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	(どちらでも可)	人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Higher Education
 (日本語): 高等教育省

ロ. 隊員勤務先名称: The Jomo Kenyatta college of Agriculture & Technology 日本語名称 (注: ケニアの農工大学)
 所在地: 首都より35キロ 主要都市からの距離 (首都より35キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 我が国の無償資金協力(約48億円)及び技術協力に基づき新設される四年制大学 農学部3学科(園芸・農業工学・食品加工)、工学部3学科(機械工学・土木建築・電気) 学生数720名、教職員120名

ニ. 設備概要: 建屋・内部設備・教職・教材共規模を同じくする我が国の大学と同じ水準のものを整備している。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 大学教員 (工学部電気学科電気通信担当)
- ② 電話線路 (主として地下式)、電話交換機の立ち上げ基礎的理論、及びその操作、保守、修理実習
- ③ ケニア人・日本人専門家と全く同様に大学一教員として専門科目を担当
- ④ 学生は K.C.E 以上 (11年以上)、年令 18 年以上 (Kenya certificate of Education 小学校7年中学校4年卒業)
- ⑤ 本邦刊行書籍、教材 (約11億円) を使用出来る
- ⑥ ケニア人教職員 80名、日本人専門家 22名
- ⑦ 英語 (講義を全て英語で行う) 及び英語に堪能である事を望む

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニア政府は次4次経済開発5年計画で国家に必要な中堅技術者の深刻な不足を痛感し、これに対処する為の職業技能訓練に重点を置いた教育制度の改革を行って来た。本学はその頂点にあつた。今後ケニアの技術者養成及び社会への供給を担う事を期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

短大 or 専門学校卒業以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

340 電話交換機

記入昭和 56年 9月 8日

調査者氏名 清水 義之

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サモア	(現地公用語) Telephone Exchange Equipment	(男) 1人	訓練開始 57年 4月
	(日本語) 電話交換機	(女) 人	派遣予定 57年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57年 7月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Communication

(日本語): 郵政省

ロ. 隊員勤務先名称: Apia Telephone Exchange 日本語名称 (アピア電話局)

所在地: Lalovaea, Apia 主要都市からの距離 (より0キロ)

ハ. 事業規模及び内容: アピア市内に引き続いて国際電話も自動化された。他の地域は、手動の有休台又は無線回線を使った公衆電話が設置されている。收容端子は現在約4000。スタッフは訓練中(Fiji)の者を含めると20名。

ニ. 設備概要: NC460E (5フルム), 6号市外台, 国際自即用装置, PBX (NEC, Ericson), 電力装置, 空調, 共電式有休交換台, Key Phone System (ボク電話: NEC)

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: Senior Technician

② 技術の範囲: NC460E (C460Eをニュージラド向けに改良したもの), PBX, 国際自即用装置, 6号市外台, ボク電話の保守及び電力装置, ディセル発電機, 空調の保守。

③ 業務の形態: 主に電話局内での保守。

④ 対象者の年齢: 24才以上。対象者の学歴: 高卒以上, カウンタパートは無し。

⑤ 現地で利用できる機材: 機材は揃っているが、工具はすぐに紛失不足するので最低自分で使う工具。防塵服は持ち行く方がよい。生活必需品として、木靴、レインコートが必要。他に職場で不足している物は、丸ペンチ、ニッパー、皮巻き器、ドライバー、アンソフ、ラベグ、トールのビット、NG用緑ビニル線、みの虫クリップコード、テスター、パッチングコードである。

⑥ 職場に於ける外国人及び日本専門家の配置状況: 現在、ニュージラド人の Chief Technical Officer 1名, 同 Senior Technician 1名いるが、57年8月にはニュージラド人^{2名}を引き揚げ、

(注) サモア人スタッフと J.O.C.V 隊員だけとなる模様である。P.B.X. にはニュージラド人が1名を派遣される様だ。

⑦ 使用する言語: 職場内では英語が話せれば充分である。しかしサモア語も話せるに越した事はない。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現在、カウンタパートは得られていない。ニュージラド人がいなくなるので、サモア人のホスの相談役として J.O.C.V 隊員が助けなければならぬ。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高卒、実務経験6年以上。若干の局内工事経験及びコンピュータ又は電子交換機及びPBXの経験者。通信電力の隊員が得られない時は、電力装置と専門的知識・経験を積んだ人が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年9月1日

341 電話線路

調査者氏名 谷川 幸志雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア (サバ州)	(現地公用語) Telephone Line Plant Planning	(男) 1人	訓練開始 57年4月
	(日本語) 電話線路	(女) 人	派遣予定 57年7月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Jabatan Telekom Kerajaan Malaysia (Telecommunication Department)
(日本語): マレーシア電信電信局

□ 隊員勤務先名称: J.T.M Ibu Pejabat Sabah 日本語名称 (サバ州電信電信局)
所在地: c/o J.T.M Sabah Headquarters KK 主要都市からの距離 (KKより1.5キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 同僚局は総機数約7500台(2000)の電力内容はの国内外電話機-12

② 国内外電報, テレビ放送-12と自着電機機-12と区域外10系統-12と専用回線機-12と 4955回線機
の一般加入電話局報 機数共衆, 総機数約, テレビ放送機, 同州内の電信局は約20局(1000機)

ニ. 設備概要: 同僚局(規模) 2500機約1100名, 同僚局は約200名と2500機構成されている。
機数約-12と約2000機の機数約-12の使用不能機は約200機(交換機-12と日本AVS機-12と交換機)

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位... Engineering Assistant (Line Planning Section)
- ② 技術の範囲... 電話線路の施設設計, 積算及び監督業務。
特殊な技術が必要な工事については, 工事の監督も行う。保電作業-12と
パトロールの指導も行う。
技術的には架空線路設計, 地下線路設計, 管路マンホール設計, 線路
設計全般にわたる。
- ③ 業務の形態... 約8割の才力と業務残り2割の現場作業。地方都市の設計や
20日程度の出張を行う。
- ④ 職階及びその人数... 同僚局は Assistant Controller 1名(52才), Engineering Assistant
2名(45才, 26才) Technical Assistant 4名(25才~32才)に構成されている。
- ⑤ 機材... ケ-ブル用-12, ケ-ブル用-12, ケ-ブル用-12 (25と50) ケ-ブル用-12と材料
機材約-12と約2000機の機数約-12の使用不能機は約200機。
- ⑥ 年齢個人... 40才。
- ⑦ 使用語言... 英語とマレー語 (訓練は英語で, 加藤隊員と交際しているため)
読解力と聴解力があることが望ましい)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現在、サバ州の電信事情は肉には、一部の機能は保っているが、技術者の不足から、性能及び
設備の保守・管理が不十分であり、また市外回線の不足から、十分な機数3012台に現状では
4955台から日本機を投入して、口から2000台の技術向上を願う。今後の電話線路の正常化及び
改善を計るべく、この期を待たれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

電話線路の肉に実務経験者 4~5年。
線路設計全般にわたる技術及び現場監督の能力があることが望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 9月 11日

341 電話線路

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語)	(男) 2人	訓練開始 57年 4月 6日
	(日本語)	(女) 1人 (どちらでも可) 1人	派遣予定 57年 7月 10日 受入期限 年 月 日に現地到着のこと
(1) 配属先 Ministry of Communications			
1. 配属先名称 (現地公用語): Nepal Telecommunications Corporation (日本語): ネパール電気通信公社			
2. 隊員勤務先名称: Engineering Department 日本語名称 () Planning & Development Section			
所在地: Singhdurbar, Kathmandu 主要都市からの距離 (より キロ)			
3. 事業規模及び内容: NTC 職員数 600名 (内 gazetted 80名)			
1979年~1984年の予算は 462.7 百万ルピー (内訳 World Bank 255百万ルピー, UNDP 24.7百万ルピー, 英国 65百万ルピー, NTC 118百万ルピー) / 1ルピー=約20円			
4. 設備概要: 電話局数 16, 総端子数 11,970			
(2) 隊員の業務内容:			
① 隊員の業務上の地位: Engineer クラス			
② 技術の範囲: Telephone outside Plant Engineering (特に Underground Cable と Overhead line or Aerial Cable) 今後の予定では南局に伴う工事が多くなる。 (スリット, マンドラケーブル, バネ補局, カブリス 5000T 南局 <地下ケーブル>) 10kV 1000T 増設 <地下ケーブル>			
③ 業務の形態: 工事計画のある局(新設局も含む)に出向き現地の Supervisor 等と相談しながら設計を行ったり更に工事の監督・技術指導を行ったり			
④ 階級・ポスト: Assistant Engineer 又は Supervisor クラスの者が共に仕事をすることが特定のノウハウポイントとしてある場合がある。他に留学した Engineer は基礎学力がある。			
⑤ 利用する機材: 工場で相手側 (NTC) で日本、スウェーデン (ELCON) 等から機械・工具類を購入 (なお) 今後必要となる機材は NTC 側で購入する予定。前任隊員の持参した工具・測定器などもある。必要は、ほぼ充分と思われる。			
⑥ 来3個人: Patan Technical Institute の専門家 (総括主任、線路スウェーデン) 線路がラウラ、ト個人各1名いる。			
⑦ 使用する言語: ネパール語 (技術用語は英語)			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
5年計画 (79-84) に基づき電話局の新設・増設が予定されており地下線路設備は旧木製のものが入荷済であり、NTC 側で線路分野を系統的に計画・設計・施工を行わせる技術者もほとんどいないため計画から施工までの幅広い知識・技能を有する隊員の受入を望んでいる。 過去の先任隊員を通じてこの業務に対する JOCV への評価はよい。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
今後数年間は設計も施工・保守が中心になり、特に地下線路の施工経験者 (架空線は必要があるか) を求める。経験5年以上。 ・電々公社の大学部又は専内部卒 あるいは大学又は高専卒。 <井原・東隊員交替>			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 9月 17日

341 電話線路

調査者氏名 藤 卷 洋

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
スリランカ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 57年 4月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 57年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Ministry of Post and Telecommunication*
(日本語): 郵便、電気通信省
- ロ. 隊員勤務先名称: *Dept of Telecommunication* 日本語名称 (電気通信省)
- 所在地: コロンボ 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: コロンボ地は、南部コロンボ、北部コロンボ、ハブロンクタウン、マラターナの四地区に区分し、電話線路の保守管理にあつている。隊員は、南部又は北部コロンボ及びハブロンクタウンのいずれかに配属される。
- ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位 電話線路保守管理の技師
2. 技術の範囲? 現場における地下ケーブルの切断箇所発見及び保守管理、及び
3. 業務の型態? 現地人スタッフに対する指導 (電話線は日本製)
4. カウンターパート等 上記 (1) - (3) に記した通り、そのほかの地区を担当する修理班は概ね、
テクニシャン 3人、ワイルドワーカー 60人から構成され、1人のテクニシャンの下に 3~4人ワーカーが野外での業務にあつている。カウンターパートは、
3人ほどはテクニシャンであり、年令は 30~40才、経験年数 4~5年。
5. 機材等
 - ① OHMMETER BR-6/67197. 500V (英国製)
 - ② PAIR CABLE FAULT LOCAT NW32C (日本製 安立電気)
 - ③ SOLID-STATE AUTOMATIC INSULATION RESISTANCE TESTER (日本製、サンワ)
 - ④ 資材及び人員運搬用として大型及び小型トラック各1台、
以上の機材がそのほかの修理班に備えられている。
6. 指導人等 同者には、JICAから電波監理の分野で高島茂明氏(郵政省)が指導中。
7. 使用する言語 英語及びシンハリ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国における電話線は全て地下ケーブルである。道路工事や、その他の要因で切断されることが多く、特に降雨後は電話が通話不可能なことが多々ある。修理については、テクニシャンが指揮しているが、テクニシャンは事務的処理も業務範囲に入っており、指導が行届かない。隊員には、機材の使用法、電話線の接続方法、現地人スタッフに指導することが期待されている。又、要請機材では早期の派遣を希望している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高校卒以上 (経験3年以上)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年 7月 15日

341 電話線路

調査者氏名 豊嶋 一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
K=J	(現地公用語) Under Grand cable construction	(男) 2人	訓練開始 年 月
	(日本語) 電話線路	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Kenya Post & Telecommunications

(日本語): K=J 郵政公社

ロ. 隊員勤務先名称: K.P.&T.C. D.T.M.

日本語名称 ()

所在地: Nairobi or Mombasa

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: K.P.&T. は、あつて日本の組織を引用した郵政省の郵政公社、国際電報を加えた業務を一手で行う公社で隊員は電話部門に配属する

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

1. 地位: Assistant Engineer

2. 技術範囲: 路線図の読み、路線の接続及び配工

3. 業務の型態: 現場工事を行う技術指導

4. 階級-位付: Assistant Engineer - 2nd of group 5に付く

5. 利用業務機械: 工事上必要とすれば所有

6. 外人専門家等: K.P.&T. は、数多くの外国人専門家が

技術専門家が働いている (日本人5名)

7. 使用言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で明記のこと):

経験5年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54年 11月 22日

382 送 信 機

調査者氏名 駒澤 彰夫

伊藤 隆 交信

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語)(Radio Transmission) Broadcasting Engineer	(男) / 人	訓練開始 55年 6月
	(日本語) ラジオ送信機	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 55年 10月 受入期限 毎月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Information, Broadcasting & Television
(日本語): (ザンジバル) 情報放送省
2. 隊員勤務先名称: Transmitting Station 日本語名称 (ラジオ送信所)
所在地: Zanzibar 主要都市からの距離 (より キロ)
3. 事業規模及び内容: スタジオと送信所は3km程離れた分離型
ラジオ局は約100名のスタッフ内送信所関係は10名の現地人スタッフ。
短波 10KW 周波数 3339 KHZ, 中波 2.5KW 584 KHZ
4. 設備概要: 機器は英国 Radifon 製

(2) 隊員の業務内容: 送信所をエンジニアとして現地エンジニア、シニアエンジニア、テクニシャンへのアドバイス、指導をすると共に実際に自分で保守・管理にもあたります。

- ① 地位 エンジニア
- ② 技術範囲 ラジオ送信関係 (スタジオも含む) すべり
- ③ 形態 上記のとおり (機構図参照)
- ④ カウンターパート等
エンジニア プライマリ・スクール卒 1年4年西ドイツ1年留学
シニアエンジニア (3人) 同上 経験15年位 50~55才 40才
テクニシャン (6人) プライマリ・スクール卒 現地電気技術学校卒
30才前後
- ⑤ 機材 電界強度計, シンクロスコープ, シグナルジェネレーター,
オーディオ発信器, 周波数計
- ⑥ 専門書等 なし
- ⑦ 言語 スワヒリ語 (技術専門用語は英語)

放送時間 (月~土) A.M 6:00 ~ 8:00, P.M 2:00 ~ 4:30, P.M 6:30 ~ 11:00
(日) A.M 10:00 ~ P.M 2:00, P.M 5:30 ~ 11:00

現地スタッフが3交替システムで業務にあつている。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

放送網の確保と拡充はザンジバルにとつても最重要課題であるが、施設: スタッフともまだ不十分で問題も多い。特に送信関係のスタッフの技術向上に協力隊員の継続派遣を切望している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○大卒 経験 2~3年

知識的レベルとして 2級無線技術士程度が必要。
英語 (特に専門用語) が話せれば尚ベター。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 9 月 4 日

360 建設機械

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 57 年 4 月
	Heavy Equipment Operation	(女) 人	派遣予定 57 年 8 月
	(日本語) 建設機械(操作)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Construction Manpower Development Foundation

(日本語): 建設人材開発協会 (Foundation) (本部はマニラ)

2. 隊員勤務先名称: Construction Manpower Development (日本語名称)

所在地: 未確定、地方都市のうちどこか1か所 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 同 Foundation は工業省下の建設工業科の下部組織としてつくられたばかりである。同 Foundation は建設(フロント類)関係の熟練労働者育成のため、約 250 人を全国各地で 57 年計画で訓練する。

4. 設備概要: 実際の訓練は全国各地の既存の設備施設を用いて実施する。しかし必要工具・材料等は C.M.D.F. が提供する。

(2) 隊員の業務内容: C.M.D.F. は建設関連のみに特化して訓練を行う。訓練

は 9 部門ある。このうち建設機械関係が持つ。C.M.D.F. の本部はマニラにあるが、隊員が実際に仕事をするのは地方である。現在のところどういった場所かは明確になっていない。しかし既存の設備施設を利用するので JICA (青少年職業訓練) のような全国に事務所・訓練所を持つ機関とのタイプが考えられている。

隊員のキャリアパスは同職種別の職業訓練教官である。通常の隊員の業務は同職種別の ① Training module の作成 ② 機器等の操作デモンストラーション ③ 訓練教官の補佐として働く ④ 訓練生 (21才〜45才まで) を直接指導する ⑤ 訓練教官に代わり、場合によっては訓練終了後の評価を行うことである。

1回の訓練期間は4か月で1982年4〜5月からスタートの予定である。訓練生の数は実際に開設される場所によって男が数十から数百になる。

技術: 次に記すような建設機械の効率的な使用法および安全操作について指導する。建設関係機械 → フォルダー、シヨベル、クレーン、(クレーン)リフト、ロープ、セメントミキサー、エアコンプレッサー、タンクローリー等。(できるだけ多くのこれらの機械を知ったことのある人が望ましいが可決でなくてもよい)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: フィリピンにおいても工業分野での熟練労働者の不足が深刻な事態である。当国ではこれを達成するため各種職業訓練の充実を力を入れている。このような各種職業訓練の一つとして、特に建設関係で(しかも青少年)は必ずしも馬鹿者を含めた成人の職業訓練を行おうとしているもので期待は大部分の隊員(5名)に訓練生には生活補助金等が支給される)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で明記のこと):

学歴は同レベルだが、(実務経験)を有するところが必須条件である。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

360 建設機械

記入昭和56年9月4日

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Heavy Equipment Maintenance	(男) 1 人	訓練開始 57年4月
	(日本語) 建設機械(保守)	(女) 人	派遣予定 57年8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Construction Manpower Development Foundation

(日本語): 建設人材開発協会 (Foundation (本部はマニラ))

ロ. 隊員勤務先名称: Construction Manpower Development (日本語名称)

所在地: 未確定. 地方都市のうちどこにか1か所 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 同 Foundation は工業省下の建設工業特用の下部組織としてつくられたばかりである. 同 Foundation は建設(アライメント)関係の熟練労働者育成のため約25万人を全国各地で5ヶ年計画で訓練する.

ニ. 設備概要: 実際の訓練は全国各地の既設の設備施設を用いて実施する. (か) 必要は工具・材料等は C.M.D.F が供給する.

(2) 隊員の業務内容: C.M.D.F は建設関連のみに特化して訓練を行う. 訓練

は9部門ある. このうち設備機械保守を管轄する. C.M.D.F の本部はマニラにあるが, 隊員が実際に仕事をするのは地方である. 現地のどこどこというように場所は明確にはなっていない. しかし既存の設備施設を利用するので JICA (青少年職業訓練) のような全国に事務所・訓練所を持つ構図でのタイプが考えられている.

隊員のカウンターパートは同職種の職業訓練教官である. 通常の隊員の業務は同職種の ① Training module の作成. ② 機器類の操作デモンストラーション ③ 訓練教官の補佐として働き ④ 訓練生(21才~45才まで)を直接指導する ⑤ 訓練教官に代わり教えた場合訓練終了後の評価を行なうことである.

1回の訓練期間間は4ヶ月で1982年4~5月からスタートの予定である. 訓練生の数は実際に確保できる場所によって男が数十から数百になる.

技術: 建設機械類の現場における保守方法を指導する. 現場での建設機械の維持・保守(緊急時の保守, 部品交換などを含む)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: フィリピンに於いても工業分野での熟練労働者の供給不足は急務の事柄である. 当国ではこれを達成するため各種職業訓練の充実を力を入れていく. このようは各種職業訓練の一つとして, 特に建設関係で(しかも青少年ではなく若年層も含めた成人の職業訓練を行なおうとしている)もので期待は大きいものがある. (ちなみに訓練生には奨学金補助金が支給される)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴は向わぬが、(実務経験)を有するに○が必須条件である.

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 4 月 17 日

330 建設機械

調査者氏名 谷川 幸志 雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア (マラッカ)	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	建設機械	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Department, Sarawak

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Communication and Works Public Works
(日本語): 公共事業省

ロ. 隊員勤務先名称: P.W.D. Central Mechanical Workshop (中央建設機械工場)
所在地: Tanah Puteh, Kuching 主要都市からの距離 (Kuching 市郊)

ハ. 事業規模及び内容: DID (Drainage Irrigation Dept.), Agriculture Dept., Marine Dept. で使用される自動車及び建設機械の分解修理などを執行する。(別添資料参照)
同7-72907の140セグメント・トレイニング・コースから構成される27台の数は約160%以上

ニ. 設備概要: 自動車及び建設機械のオーバーホールに必要な材料及び税金、保険、燃料費、修理費、搬送費、必要の材料はすべて揃っており、設備は良好である。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: トレーニング・オフィサー (トレーニング・インストラクター)

② 執行の範囲: Major Overhaul (エンジン・車体部分の分解、組立、修理) から

③ 業務内容: Minor Repair (一般的修理) を執行する。

- ・ 具体的には、機械の構造、調整方法などを修理、整備を行う。
- ・ 各セグメントのメカニク、オーバーホールなどを対象に講義と実習を地で行う。
- ・ P.W.D. の技術者の進歩が期待されることから、講師の責任を担うことができる。
- ・ 経験豊富な年令は約19才～26才までで、修理経験が豊富である。
- ・ 期間中は1年間半で、訓練が終了すると各セグメント (P.W.D.) に配属される。
- ・ 併せて、各セグメントの巡回指導も行う。

④ 使用するパート: 機械の修理に必要で、E.V.R. のパーツ、77000のパーツ等の場合、肉体的に必要で、中・高年層の経験豊富な、日本の修理工と技術的に同等の技術者が居る。

⑤ 材料: 小松 D355, D155, D85, D75, D65, D30, マルチ D8, D6, D4, 日立 FL140, FL220 (3台) 等の Draglines, 二台 Excavators, 小松 GD500 Graders, 等 必要の材料は揃っている。

⑥ 言語: 英語 ⑦ 派遣期間の予定: 5/1 後大坪橋駅

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

近年 P.W.D. では上記日本製の自動車、建設機械を大量に使用していると同時に、これらの機械の保守修理の業務も増加してきている。これに支障をきたさないよう、実務経験のある技術者を望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 建設機械関係の学業を終了資格を併せて、実務経験3～5年あり者
- ② 二級整備士 (ガソリン又はディーゼル) 相当の資格を有する者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

360 建設機械

記入昭和 56 年 9 月 日

調査者氏名 新田 慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) PLANT MECHANIC	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 建設機械	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): The Office of President & Cabinet
(日本語): 大統領府

ロ. 隊員勤務先名称: Immigration Branch 日本語名称 (灌漑局)
所在地: リビンガ 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 従業員はマラウイ各地合わせて約 30 名、車両台数は本部だけで約 20 台。各拠点を含めると 100 台。(トラック、オートバイ、建設機械)

ニ. 設備概要: 工場は車両 4 台に入る大きさ。カレシマキ中型 1 台。スタンプミル中型 1 台。グラインダー 1 台。溶接機 (電気・ガス) 各 1 台。部品庫、手持工具等。

(2) 隊員の業務内容:

工場の監督として修理から車両の管理、スタッフの管理、時には地方の現場への出張もある。

・業務上の地位: Mechanical Supervisor

・キャリアーパート: ほとんどの小学校卒。Foreman が高卒で一般修理はインターンである。

・利用可能な機械: ほとんどそろっている。

・共同人: 他に JOCV 隊員 (自転車整備) 1 名

・言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 印南一雄隊員の交代

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 高卒以上
2. ティーセル (ガソリン) の級整備士
3. 実務経験 3 年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 4 月 日

330 建設機械

調査者氏名 新田慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) Plant Mechanic	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 建設機械	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期間 7 年 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Works & Supplies

(日本語): 工業補給省

2. 隊員勤務先名称: P. V. H. O.

日本語名称 (重機車輛貸貸局)

所在地: 未定 (現段階はリフラジに勤務し、主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 軽動機 (予定)

4. 設備概要: 一般車輛 50台、建設機械 50台。工場備品・工具が不足。交換部品の入手困難。コンプレッサ、溶接機、ガス切断機、ブームクレーン、サスペンション。

(2) 隊員の業務内容:

・業務上の地位: Mechanical Supervisor

・技術の範囲: 一般車輛、建設機械の故障修理、メンテナンスサービスの指示・管理

・業務の形態: フォルトでは故障修理、サービスではメンテナンス。ワークショップでは車検、中程度の修理の監督を行なう。部品・工具の手配。問題処理。

・キャリアパート: 中年、30~40歳。基礎知識が豊富であり、不慣れな仕事にも対応できる。

・言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

福田 建隊員の文書。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 専門学校卒業以上。 2. 実務経験3年以上。 3. 二級整備士。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 9月 10日

366 織 機

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Hand Loom, Spinning Wheel	(男) 1人	訓練開始 57年4月6日
	(日本語) 手織り機	(女) 人	派遣予定 57年9~10月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Panchayat and Local Development
 (日本語): パンチャヤト地方開発省

ロ. 隊員勤務先名称: Jkapa Panchayat Development Training Center 日本語名称 (現地: パンチャヤト開発訓練センター)
 所在地: Jkapa, Mechi 県 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農村開発のため村行政の事務を担当する書記のコース、技術者を養成する土木建設コースがあり、3~5ヶ月の研修期間で人材を育てている

ニ. 設備概要: 教室、寄宿舎、作業室、圃場、水田 30a、麦畑 30a、トウモロコシ 17a、野菜畑、果樹園

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位: 教官 (Instructor) 相当。但し教官ではない。
- ② 技術の範囲: 手織り機、紡ぎ車の設計・製作、保守・操作
- ③ 業務の形態: トレーニングセンター内での試作、改良設計、近郊農家への普及
- ④ 対象者・カウンターパート: カウンターパートは配置される見込。但し、カウンターパートの中に手織り機コースがないため、教室で訓練生に指導する訳ではない。普及対象となる農家の人は、無学に近い人が多く、伝統的・慣行的に手織り技術を修得している。
- ⑤ 利用できる機材: 現在、ネパールスタッフの手によって手織り機の試作、繊維加工、紡績の試作がおこなわれており、大工道具程度のもものは揃っている。
- ⑥ 邦3国人専門家の配置: なし
- ⑦ 使用言語: ネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当パンチャヤトトレーニングセンターでは、周辺地域の慣行家内産業技術の改良・向上をめざし、いわゆる中間技術・適正技術開発に力を入れている。隊員は機械の操作・布地の製造ではなく、伝統的器具の改良・工夫、修理技術を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

手織り機、紡ぎ車等の近代的な器具の原理(からくり仕掛け)を理解し、その器具を改良・修理できるセンスのある人。
 工学・機械を専攻した人がよいが、学歴は大学でなくてもよい。
 <新機要請>

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 10 月 30 日

366 織 機

調査者氏名 中野 晴彦

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガーナ国	(現地公用語) TEXTILE	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 織物機械	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 文部省 技術職業教育局 様 MR SAN AGGREY			
イ. 配属先名称 (現地公用語): TEMA TECHNICAL INSTITUTE (SCHOOL)			
(日本語): テマ技術学校 校長 MR PHILIP QUACO (1980.9月着任)			
ロ. 隊員勤務先名称: 所在地: テマ市 日本語名称 () 主要都市からの距離 (テマ州外キロ)			
ハ. 事業規模及び内容: 1967年に創立、教師25名、生徒数、28名(3部門)			
① 織物コース(3年制) 25名(2クラス)~教師10名長 MRS RECLIXIA (昨2626名あり)			
② 皮革コース() 25名(2クラス)~ 3名+JOCV.(1980.11.1着任)			
③ 機械コース() 28名(2クラス)~ 6名			
ニ. 設備概要: 生徒の年令 18~25名、日本からの援助によりスズキ織物機が5台あり、故障(部品の欠)のため動いていない教台、他に原料がないことである。			
(2) 隊員の業務内容:			
① 隊員の業務上の地位 学校の中の一人の教師、校長及び部長の指示をうける。			
② 技術範囲 基礎から指導する(理論と技術が要求される)コースが3年間であるので高学年は高度の技術が要求される。			
③ 対象者及カウチャーパートの技術水準、年令 生徒 28名 平均年令 19歳 カウチャーパート 校長及び同僚教師、MR RECLIXIA 如きは日本に来て教員研修を受けている、日本語も話せる。			
④ 現地で利用できる機械 織機は日本製スズキ、ほとんど部品がないように見受けられるので修理が必要(着任後にはリストアップに要請可能)			
⑤ 使用する語は 英語で授業する。			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 約10年前に日本からの援助で織物プロジェクトがスタートし、日本から専門家数名が派遣にあたり、現地人に引継ぎされた。しかしその後、故障及び原料の調達等がうまくいかず、徐々に縮小してきた。3年前にJOCVの要請があったようであるが応募者がなく、現在に至る。配属先の期待度は大である。			
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 人格が良ければ良い。英語経験は2年以上、おとなしいタイプより明るい方がよい。			

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 1月 6日

370 船舶機関

調査者氏名 山本嘉秀 (Yamamoto Takayuki)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語) هيئة ميكانيك بحري	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 船舶機関	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 10年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): المؤسسة العامة للأعمال فرع البشري
 (日本語): 農業農地改革省 水産公用 ラタキア支所
 2. 隊員勤務先名称: 水産公用 ラタキア支所 (日本語名称)
 所在地: ラタキア市内 主要都市からの距離 (ラタキア市内)
 3. 事業規模及び内容: 水産公用唯一の海面漁業支所にて 80トン漁船三隻が配属され運用されている。

4. 設備概要: 80トン漁船 (360 HP) 3隻 204 小型船 6隻

(2) 隊員の業務内容:

隊員の業務上の地位
 支所に配属され必要とされる際は乗船する。
 陸上では支所スタッフ 海上では機関長待遇となる。
 一般には専門家業務と考えればよい。

技術の範囲
 日本における同規模船 100~250トン級の漁船の機関長と同様もしくは準ずる技術が要求される。具体的には主機、発電機、ポンプ類、冷凍機、舵機、油圧ポンプ、パワーブロックの修理保守、ガス切断、電気溶接技術等航海計器等の弱電機器及び設置されている中、強電機器の故障修理技術。

カウとカーパート 現状ではなし。
 他国専門家 いない
 使用する言語 乗船時 アラビア語 シリア方言のみ
 支所においては 英語使用も可である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

シリア国においても、又当水産公団においても船舶機関技術に関し、豊富な経験技術者を有する者がいるため、当隊員の派遣は熱望されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産高校 機関科 専攻科卒: この場合乗船履歴5年以上
 商船大学 商船高専・水産大学校 機関科卒: この場合乗船履歴3年以上
 海技免状 乙種機関長・甲種二等機関士以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年4月 日

340 船舶機関

調査者氏名 稲田 武司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	MARINE ENGINEER	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	船舶機関		
(1) 配属先			
イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Natural Resources			
(日本語): 農業天然資源省			
ロ. 隊員勤務先名称: Fisheries Department		日本語名称 (水産局)	
所在地: Mangochi		主要都市からの距離 (約170km)	
ハ. 事業規模及び内容: 水産局の Mangochi Station 内の4課で各村の漁獲量・漁法指導・水産資源の調査・保護及び漁船エンジンの修理が行われ、隊員は各 Workshop に勤務する。			
ニ. 設備概要: 工場の設備は不十分。(ボルト盤・クランク・ポンプ等)。FRPボート2台、セイルボート(サニール)1台、船外機4台、自動車1台、モトバイク2台			
(2) 隊員の業務内容: 漁民が使用している約350台程度の船外機(ヤマハ製シールド)を Workshop で修理、又現場で使用しているボートエンジンの保守・指導を行う。			
。業務上の地位: Workshop の Supervisor			
。技術の範囲: 船外機(低馬力)についての一般知識が主で、その他内燃機関全般の知識(整備・修理)。(整備・修理)			
。同僚: Secondary School 2年を終えた後2年間の専攻課程を修了。船外機(シールド)の知識・技術は、サニール、他のエンジンに関しては知識のみ。			
。使用言語: 英語 フランス語(多少)			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 古河文男隊員の交替			
当マラウイ・ステーションには、マリナ・エンジニアと称する者が46年より不在。昨年4月の松田隊員との交替の古河隊員による貢献度は高く評価されている。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
① 専攻高専以上 ② 実務経験2年以上 ③ 船外機に関しては1ヶ月程度の実習ができれば充分			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年3月6日

340 船舶機関

調査者氏名 吉村正秀

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ソロモ 諸島	(現地公用語) FISHERIES ENGINE MECHANIC	(男) 1人	訓練開始 56年10月
	(日本語) 漁船エレクトリック	(女) 1人	派遣予定 57年2月
		(どちらでも可) 1人	受入期限 年 月 日に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): DEPARTMENT OF FISHERIES, MINISTRY OF NATURAL RESOURCES
(日本語): 天然資源相. 水産局
2. 隊員勤務先名称: FISHERIES DIVISION, WESTERN PROVINCE 日本語名称 (ワス) 水産局
所在地: G120, 主要都市からの距離 (kmより 0 # 0)
3. 事業規模及び内容: P.O. BOX 77, G120. TEL: G120-07
事務所 / WORKSHOP 2 新事務所と教室を建築の計画あり
4. 設備概要: グラスファイバーボート 2 予備船外機 (25馬力と50馬力1台)
(W-23)

(2) 隊員の業務内容:

ANKI と同様に WORKSHOP で実技を指導すると同時に、近隣の島の漁民の指導もやる。近い将来、事務所と教室を建築したい！
理論と実技を指導する。FISHERIES DIVISION には 9 名のスタッフがいますか？
G120 には 5 名、その中には 1977 年に 6 月の JICA 研修で入った子の CENTER の漁業コースを受講したロッキーと 71-2 の大学の MARINE BIOLOGY を専攻したアディヤツと、河津君 (24.5 歳) 青年がいる。他はもう一人はいい、DIVISION の長は MR. EATON (オーストラリア人) で、以前 SOUTH PACIFIC COMMISSION AREA の年輩の好人物 [] 隊員に期待するところが大きい。業務は、当然、実技が主伴となる。勤務時間は 8 時 ~ 4 時 30 分 (月 - 金) 公用語は英語ですか。エンジンの知識も要す。エンジンは現地に入ってから習得すればいい。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

WESTERN PROVINCE は、ソロモ諸島 7 州の中の最も資源に恵まれ、実はソロモ諸島全漁獲量の 60%、木材 90% 27% 30% を占めています。昨年、ギソムの FISHERY COMMITTEE MEETING があり、中央政府から Mr. STONE も出席し、その際 JOLV の受入を決定した。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について O 印で囲むこと):

学歴は特に問わない。O 実技の経験が豊富であること、実技の能力が求められる。経験年数は不問。SMALL SIZE MARINE ENGINE の造船技術が求められる (これは無理なことを先方も承知しており、おれは、新しい船も造る)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 7月 5日

370 船舶機関

調査者氏名 吉村正寿

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PAPUA NEW GUINEA	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 56 年 4月
	FISHERIES ENGINEER	(女) 人	派遣予定 57年 8月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(現地公用語)
FISHERIES ENGINEER
(日本語)
船舶機関

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): DEPARTMENT OF PRIMATE INDUSTRY (D.P.I.)
(日本語): 水産省

2. 隊員勤務先名称: D.P.I. FISHERIES OFFICE 日本語名称 (水産省 水産事務所)
所在地: KIEA 主要都市からの距離 (アラワより 11キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

隊員は北ソロモン州水産省水産課に配属され、同課現地スタッフへの同課所有船舶のエンジン、冷凍材器の整備、管理と技術指導する他、Binka, Temute, Nunguia Island の3区域(田舎区)での漁獲作業を指示・監督する。

現在、同水産課では、2台のボートによる漁獲作業を行っており、船舶及び冷凍庫等の故障に於て作業への影響は甚大。現地スタッフの育成は急がれる。尚、近々、アメリカ人のボランティア1名 (FISHERIES TECHNOLOGY) が派遣される見通しで、隊員はこのアメリカンボランティアと共に水産の普及活動に従事する可能性もある。

尚、同水産課のスタッフは Provincial Fisheries Officer のみならず、その他は 10名 (10名 - 20名程度のスタッフ) である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

同省水産課では、船舶機関及び冷凍材器等の知識・技術に精通した指導者が不足し、この方面でのカウンターパート育成は必要とされ、また漁獲量拡大を図るために新たに2台のボートが買入れられるという事が、隊員への期待は大きいと考えられる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

◎ 船舶における機械整備等の実務条件、また同時に、冷凍材器等の知識も要する。経験が豊富であること。

※ これらに加え、水産会社等での船舶機関及び冷凍(冷蔵)庫等の実務経験を持つ人が必要とされる。(実務経験の年数は何年でも可、最低1年は必要とされる)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 8月 10日

380 自動車整備

調査者氏名 浅川 淳 *Shinobu*

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	Automotive Maintenance	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 57年5月迄に現地到着のこと
自動車整備(ガソリン車)			

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): National Manpower Youth Council
(日本語):
- ロ. 隊員勤務先名称: Office of Manpower Skills Development 日本語名称 (国立中央職業訓練校)
所在地: Fort Bonifacio, Taguig, Metro Manila 主要都市からの距離 (Manilaより 5キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: フィリピンと国連 (ILO/UNDP) との共同プロジェクトによる設立された施設で 現在は フィリピン国営である。現在 9科あり 対象は out of school youth, 地方訓練校の教官, 工科大学の教官 公務員, 一般企業人である。地方には 13 の オフス, 10 の トレーニングセンター がある。
- ニ. 設備概要: ILO/UNDP 購入の器材設備が相当あるが 故障にいたり, 訓練内容にマッチせず 使用されにくいものが大分ある。基礎実習教材, 工具は比較的 OK, ฝึกอบรมが 使用頻度が高いので 痛みが激しい。

(2) 隊員の業務内容: 自動車科は アダプテーション, エンジン・トランスミッション, 電装の 3つのコースからなり, エンジン・トランスミッションでは ガソリンエンジンの2を扱う。但し, ディーゼルの知識も多少ある。現在, ジェネラル・メカニックスのコースが 作られつつある。各コース, 360 時間 20~30名の トレーニングで構成される。

1. 隊員の地位: JOCV Associate Expert
2. 技術の範囲: インストラクターのグレードアップを計ることもできる。深い知識と技術が要求される。又 訓練内容の立案, 新知識, 技術の導入, 各種実習用教材の製作等も期待される。
3. 業務の形態: Expert として, インストラクターのグレードアップを計る。
4. 対象者, カウンセラー: 30-50名位で, 11本工科大学又は同等に相当する学歴があり, 経験も豊富である。
現在, アドマンティエット, 各1名 インストラクター 4名 メカニックス, ツルキール 各1名の合計9名が 自動車科のスタッフである。この内 インストラクター 1名は 日本で研修中, アドマンティエットは World Bank Project の 専任を兼任しており, 将来 専任の責任に任ずる予定である。
5. 現地で利用できる器材: 器材は上記の通り。教材 (特にエンジン) は, ガソリンは 13系, ディーゼルは 12系が 多い。但し, かなり古いタイプの物 (ウリー・ロケット・バルブエンジン, 現地製の 四輪リッド・アックス (ウリーの ジョブカムの流用) Aタイプのエンジン, D.C. ジェネレーター 等) もあり, これらに対する知識が必要である。
6. 第3国人等: 11名
7. 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 交替要請 (浅川 淳, 55年1次前期)

フィリピンにおける職業訓練のイニシアチブ的な役割を担っており, 設備も比較的整っている。今後の方針として Basic 全体のトレーニングから アダプテーション主体へと移行する計画である。隊員の経験的派遣により, インストラクターのグレードアップを通じて, 上の計画が 円やかに進められることを期待する。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**
- ① 国家技能検定 2級 ガソリン整備士の資格を有していること。
 - ② 実務経験は最低 5年以上。
 3. 教育訓練の経験があれば 非常に良い。
 4. 大卒又は同等に相当する学歴 があることが望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

350 自動車整備

記入昭和 55 年 1 月 15 日

調査者氏名 秋庭守正

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン 共和国	(現地公用語) Diesel Heavy Equipment Maintenance	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 自動車整備 (ディーゼル重機器)	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56 年 2 月 受入期限 56 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): National Manpower Youth Council (N.M.Y.C.)
(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称: Office of Manpower Skills Development 日本語名称 (国立中央職業訓練校)
所在地: Fort Bonifacio, Taguig, Metro Manila 主要都市からの距離 (マニラより 5 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1968 年 2 月 フィリピン国労働省 (後に フィリピン大統領府) と国連 (UNDP, ILO) との協同プロジェクトで実施された。現在は国連が引き継ぎ、フィリピン大統領府のプロジェクトとなっている。
Out of school youth, 地方訓練校の教官、一般企業人を対象とした職業訓練指導開発を行っている。
ニ. 設備概要: 設備は比較的充実しているが基礎測定装置、機材付属品、デモンストレーション用の機材 (教材) が不足している。

(2) 隊員の業務内容: ディーゼル科は、ディーゼルエンジンオーバーホール、インジェクションポンプ、トラクター-カマのコースがあり、不完全ではあるがカリキュラムをもつ指導にあたり。

① 隊員の業務上の地位: ディーゼル科の教官

② 技術の範囲: 現地インストラクターは経験豊富でいすも大学を出ているので、インストラクターのグレードアップを計ることができる。ディーゼルトラック、重機、インジェクションポンプ (In-line, distributor, unit injector types) について深い知識とともに実技が要求され、併せて訓練内容の充実、新コース開設 (例 ハイドロリックシステム; カムレスインジェクションポンプメカニクス) 各種デモンストレーション用の教材の製作等が主な任務となる。

③ 業務の形態: インストラクター-トレーナーとしてアップグレードに従事し、教科課程教材開発課及び技能検定課と協力しての Instruction sheets, Hand-out, Demonstration 用教材の作製、新コースの選定設定に協力する。

④ 対象者及びカテゴリーの技術水準・学歴及び年齢: 現インストラクター 3 名、技術水準はまちまちであるが、例えばインジェクションポンプの分解組み立ては一度できる。全員大学出、20才〜30才

⑤ 現地で利用できる機材: いす C240 4 台, C220 1 台, D40 1 台, インジェクションポンプ 729- (Hartridge 1100) Nozzle Viewer, Synchronometer, Nozzle Testmaster (Hartridge HH601), Injector Tester (Hartridge HA280) 等

⑥ 才力 3 国人等: なし

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 秋庭守正隊員 (5/2 後自動車整備) の交替要請

比国における職業訓練のハイブリッド的プロジェクトであり、設備も比較的充実している。隊員が派遣されることにより、現在の訓練内容をより充実したものにしていくことが期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒が望ましいが高校卒でも、深い知識と高い技術・技能があればよい。実務経験は最低 3 年以上要求される。赴任時年齢が 25 才以上を望む。ディーゼル教育訓練の経験があればよりよい。
(英語力) が相当問われる。
(取得資格) 国家技能検定 2 級ディーゼルエンジン整備士を有していること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 7月 31日

350 自動車整備

調査者氏名 根本俊男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	Kaji Sawat Motor.	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
自動車整備			

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Maktab Pengajaran Teknik (Technical Teachers Training College)
 (日本語): 技術系教員養成学校

□. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)

所在地: 4 1/2 miles, Cheras Road, Kuala Lumpur 主要都市からの距離 (kmより) 7 キロ

ハ. 事業規模及び内容: 大ざねに分けて 1) 工業, 2) 商業, 3) 職業訓練等の養成講座があり
別の職業訓練講座として 1) 自動車整備, 2) 建築, 3) 板金・溶接, 4) 電気工事,
5) 工作機械, 6) ラジオ・TV修理, 7) 冷凍空調, がある。生徒数は全部で約
500名前後である。

ニ. 設備概要: 自動車整備科関係の設備は、ほぼ整っており、
訓練指導員は、支障をきたさず行っている。

(2) 隊員の業務内容:

自動車整備科の現地人講師 (以下スタッフと呼ぶ) と共に自動車整備に関する、
 実技及び理論を、訓練生 (卒業後 マレーシア国内のポリテクニク・スクールに配属される)
 に対して訓練指導を行う。特にディーゼルエンジン及び燃料噴射システムに
 関しての、実技及び理論の指導が主たる業務となるようである。併せて、この分野
 に関して、訓練指導出来る者が、現地スタッフの中にいないからである。

調査に際して、現地スタッフから、この点強く要望があった。
 隊員に、具体的指導の詳細は、自動車ディーゼルエンジンの分解・修理、調整
 等の実技と理論、又燃料噴射システム (ディーゼル) の実技と理論等である。
 現在現地スタッフに、次の装置が準備されている。

1. Harthidge Fuel Pump Test Bench.
2. Harthidge Nozzle Reconditioner.
3. C.A.V. distributor type injection pump.
4. Nissan injection pump. 等

訓練指導時に使用する言語は、マレー語であるが訓練生は、英語も理解出来るよう
 である。隊内用語は、ほとんど英語で行っている。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 自動車整備に関する、職業訓練指導要領の中にディー
ゼルエンジン分野の訓練が、新しいに追加され、これが現地スタッフの中の、これを指導する
者のいない、ために、これと共に、当科の指導体制の強化と、日本の最先技術を得たい
との期待が感じられる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): ディーゼルエンジンの調整と分解
修理及び燃料噴射ポンプの校正等について、十分な実地経験 ~~を~~ を
有する事が望まれる。また、その経験年数は、少なくとも、5、6年以上の者がほしい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 8 月 3 日

350 自動車整備

調査者氏名 山崎 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Bus Maintenance	(男) 計 3 人	訓練開始 55 年 10 月 2 月
	(日本語) 自動車整備(大型バス)	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月 4 月
	1. 電装ポンプ 2. 部品管理	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月 迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Works & Transport.
 (日本語): 公共事業・運輸省

ロ. 隊員勤務先名称: Transportation Improvement Project 日本語名称 (輸送力増強プロジェクト)
 所在地: パタン市 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 日本政府の援助でネパールの輸送力を増強するため、日本製(インダ)大型バスが 35 台が贈与される。本計画の一環としてパタン市にメンテナンス・ワークショップを建造中。整備開始は 1981 年 4 月の予定。運営はバス会社「Sajha」のキによる。「Sajha」は当国一のバス会社で 18 年ぶりの運転を始め、

ニ. 設備概要: Break Test Yard, Car Washer, 燃料 130 人の陣容 (運転手 22 人, 修理工 30 人他) である。 Fuel Pump Test Bench, Lifter, Diesel Tank, Painting Shop, Tire Shop, Fully Equipped Work Shop. (近代設備有り)

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位: 3rd class gazetted class (3 等級任官) 相当
- ② 技術の範囲: 整備対象車輛はいすゞ CR 500 (35 台) 他に以前から使用しているインド製 TATA, LEYLAND
- ③ 業務の形態: カ 20 台 (Direct Injection System). ワークショップでの勤務時間は夏 AM 10:00 ~ PM 6:00, 冬 AM 10:00 ~ PM 5:00. Mechanic の要員は 30 人いる。
 1. 一般整備隊員は、ワークショップでの整備を指導する。
 2. 電装ポンプ(テセル機差)隊員は、電装及び噴射ポンプのメンテナンス。
 3. 部品在庫管理隊員は、ワークショップ内での部品管理業務を担当する。
- ④ カウンパート: Mechanic 30 名のうち、技術・経験ともにすぐれた者がカウンパートとなる。
- ⑤ 現地で利用可能な機材: 輸送力増強プロジェクトとして一揃い備えされる。(別紙資料参照)
- ⑥ 母国専門家の配置: なし
- ⑦ 使用言語: ネパール語。但し専門用語は英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

首都圏(カトマンズ、バクタール、パタン)の人口は約 480 万人で、その交通は自動車に限られている。一方、人口当りの自動車保有率が極めて低く、住民はミニバス、トリックシヤ等を利用している。この現状を改善すべく日本政府の援助により、首都圏バス路線が拡充されることになり、パタン市に修理工場が設立され大型バスの整備・修理業務が開始された。近代設備のワークショップで、日本製大型バスの整備要員を技術指導するため、隊員が要請されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 自動車専門学校又は脱訓自動車科卒程度 (大型免許) (大型バス修理解験者) (ガソリン 2 級, ティセル 2 級 自動車整備士) 以上 3 名 共通

一般整備隊員及び部品在庫管理隊員は検査員資格のある方が望ましい。
 <新刊>